

HIKVISION



ネットワークドームカメラ

クイックスタートガイド

Made in China

クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2017 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等の禁止。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザーマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示の有無によらず本マニュアルに関しての補償はおこないません。

本マニュアルについて

このマニュアルはネットワークドームカメラに適用されます。本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。最新版は当社 Web サイトを参照してください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)。

専門の技術者の指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、様々な裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる不具合やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示の有無によらず一切の保証（性能、品質、特定の目的に対する適合性および第三者の権利非侵害を含みますが、これらに限定しない）を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

FCC 情報

規制順守担当筋より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザの権利が無効になることがあります。

FCC 準拠:本装置は連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 条の基準に基づくクラス B デジタル機器です。これらの制限は住宅への設置における有害な干渉に対して妥当なレベルの防護を提供するためのものです。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。もしこの機器がラジオやテレビの受信状態に有害な干渉を引き起こす場合(機器の電源をオンにしたりオフにすることで確認できます)、ユーザは以下の手段の一つまたはそれ以上を適用することでそれに対応することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 機器と受信機の距離を大きくとる。
- 機器を受信器が接続されているものとは違う系統のコンセントに接続する。
- 支援が必要な場合、販売店または経験を積んだラジオ／TV の技術者に相談してください。

本装置を取り付け、ラジエータと身体との間を 20cm 以上離して操作してください。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. この機器は、想定外の動作を引き起こす可能性のあるものも含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

EU 適合宣言



本製品および同梱の周辺機器（適用可能な場合）には「CE」マークが付いており、EMC 指令（2014/30/EU）、RoHS 指令（2011/65/EU）、および RE 指令（2014/53/EU）に掲げる適用可能な欧州統一基準に準拠します。



2012/19/EU (WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info



2006/66/EC (バッテリー指令):本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)の規格要件を満たしています。

本デバイスは Canada 産業省許可免除の RSS 基準に従っています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

- (1) 本装置が有害な妨害を発生させないこと。
- (2) 本装置は、その動作に影響を及ぼすような妨害を受ける恐れがあることを留意の上で使用すること。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radioexempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

カナダ産業省の規制に基づき、本無線送信機は、カナダ産業省によって送信機に承認された種類と最大（またはそれ以下の）ゲインを有するアンテナを使用しないと操作できないようになっています。他のユーザーへの潜在的な電波干渉を減らすため、相当する実効輻射電力 (e.i.r.p.) が通信に必要なものを超えないようにアンテナの種類とゲインを選択すること。

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope

ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

本装置を取り付け、ラジエータと身体との間を 20cm 以上離して操作してください。

Cet équipement doit être installé et utilisé à une distance minimale de 20 cm entre le radiateur et votre corps.



安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告:この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

注意:この注意を無視した場合、ケガをしたり、装置が破損する可能性があります。

	
警告 重傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	注意 ケガや物損の可能性を抑えるために、これらの注意に従ってください。



警告

- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。

ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV（安全超低電圧）および 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1 つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。製品が壁または天井に設置される場合、機器をしっかりと固定する必要があります。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。



注意

- カメラを使用する前に電源供給電圧が適正であることを確認してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサーモジュールを指でさわらないでください。清掃が必要な場合、清潔な布に少量のエタノールをつけ、やさしく拭いてください。カメラを長期間使用しない場合、レンズキャップを装着し、センサー部をほこりから防護してください。

ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

- 太陽や極めて明るい場所にカメラを向けないでください。焦点ボケや不鮮明化が起こる可能性があります(動作不良ではありません)、またセンサーの寿命に影響する可能性があります。
- センサーはレーザー光線によって焼き付く可能性があるため、レーザー装置を利用する場合には、センサーの表面がレーザー光線にさらされることのないようにしてください。
- 高温、低温になる場所（型番の最後に H が付く機種に関しては、操作温度は-30°C から+60°C (-22°Fから +140°F)）や、ほこりや湿度の多い場所にカメラを置かないでください。また、強い電磁波にさらさないでください。
- 熱がこもらないように、動作環境には適切な換気が必要です。
- 使用中はカメラを液体から遠ざけてください。
- 搬送する場合、カメラは元々の梱包材か、同等のもので梱包してください。
- 定期的な部品の交換：装置のいくつかのパーツ(たとえば電解コンデンサ)についてはパーツの平均耐久時間に応じて、定期的に交換してください。動作環境と利用状況によって平均耐用時間は変わりますので、定期的な点検をすべてのユーザーにおすすめします。詳細については販売店に確認してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのもので交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。

ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。カメラを決して自分自身で分解しようとししないでください。(承認されていない修理や保守行為による問題について、当社はいかなる責任も負いません。)

0505001070621

目次

1 外見の説明	11
2 取付	14
2.1 カメラマウント.....	15
2.1.1 Wi-Fi アンテナの取付.....	15
2.1.2 天井マウント.....	15
2.1.3 ブラケットを使用して天井に取り付ける場合.....	18
2.2 ネットワークケーブル防水ジャケットの取り付け (オプション).....	19
3 LAN 経由のネットワークカメラの設定	22
3.1 配線.....	22
3.2 カメラのアクティベート.....	23
3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション.....	23
3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション.....	25
3.3 IP アドレスの変更.....	27
4 Web ブラウザ経由のアクセス	30
5 Hik-Connect アプリ経由の操作	33
5.1 カメラの Hik-Connect サービス有効化.....	33
5.1.1 SADP ソフトウェア経由の Hik-Connect サービス有効化.....	33
5.1.2 Web ブラウザ経由の Hik-Connect サービス有効化.....	35
5.2 Hik-Connect 設定.....	36
5.3 カメラの Hik-Connect への追加.....	36
5.4 メモリ カードの初期化.....	38

1 外見の説明

カメラの概要を以下に示します。

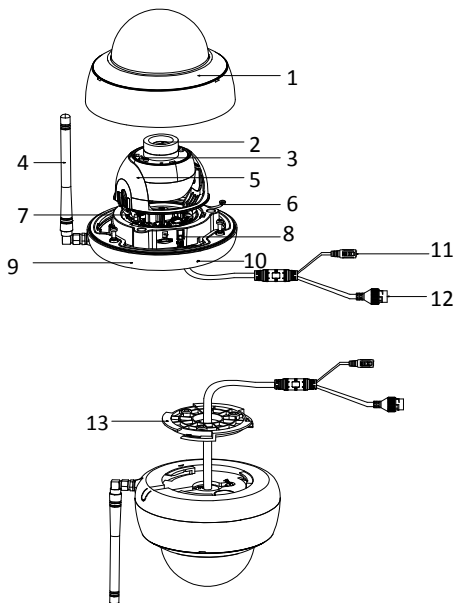


図 1-1 カメラの概観

表 1-1 詳細

番号	説明
1	球形カバー
2	レンズ
3	赤外線 LED
4	Wi-Fi アンテナ
5	黒色ライナー
6	安全ロープ
7	レンズ調整ブラケット
8	WPS (Wi-Fi プロテクトド・セットアップ)/リセットボタン
9	底部
10	マイク
11	電源インターフェイス
12	RJ45 ネットワークインターフェイス
13	アダプタープレート

注意:

- カメラの電源をオンにする際、または再起動の際に RESET を 10 秒間長押しすることで、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号等を含むデフォルト設定を復元できます。

ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

- カメラの WPS 機能を有効にするには WPS 機能を備えたワイヤレスルータが必要です。以下の手順を参照してください。

手順:

- 1) ルータの WPS ボタンを押します。
- 2) ワイヤレスネットワークに加入させるには、ルータの WPS を有効にしてから 120 秒以内に、カメラの WPS ボタンを約 2 秒間押ししてください。

注意:

- カメラの電源がオンの時にのみ、WPS ボタンはリセットボタンとして機能します。
- カメラの WPS ボタンを押して、ルータ側の WPS ボタンを押しても動作します。カメラ側の WPS 接続の有効時間は 120 秒です。

2 取付

始める前に:

- パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- 標準電源は 12 VDC です。電源供給がカメラと適合していることを確認してください。
- 設置作業中はすべての関連装置の電源がオフになっていることを確認します。
- 設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
- 壁面が、カメラと取付金具の重量の 4 倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。

赤外線をサポートするカメラについては、赤外線の反射を防ぐために、以下の注意事項に留意する必要があります:

- ドームカバーに付着したほこりや油は赤外線の反射を引き起こします。ドームカバーのフィルムは、設置が完了するまではがさないでください。ドーム カバーにほこりや油が付着した場合、柔らかく清潔な布とイソプロピル アルコールでドーム カバーを清掃してください。
- カメラのレンズのすぐそばに反射面がないことを確認してください。カメラからの赤外線光がレンズに反射される可能性があります。
- レンズの周りのフォーム リングは円蓋の内面と面一に保ち、レンズが赤外線 LED から隔離されるようにしてください。ドームカバーはフォームリングと継ぎ目なく繋がるようにカメラ本体に固定してください。

2.1 カメラマウント

2.1.1 Wi-Fi アンテナの取付

手順:

1. 下の図に示すように、Wi-Fi アンテナをねじ止めします。

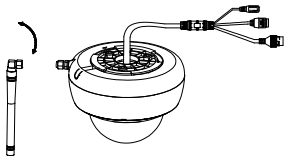


図 2-1 Wi-Fi アンテナの取付け

2. 付属のレンチを使用してロック ナットを締めます。

2.1.2 天井マウント

天井マウントの前に、Wi-Fi アンテナが取り付けられていることを確認します。

手順:

1. 天井にアダプタープレートをねじで取り付けてください。

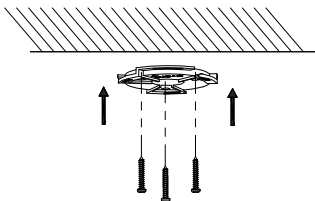


図 2-2 アダプタープレート天井に取り付ける

- 天井の中にケーブルを通す必要がある場合は、天井にケーブルを通す穴を開けます。天井の表面にケーブルを通す場合は、この手順は飛ばしてください。
- カメラのケーブル配線。
- 手で底部を固定して、アダプタープレートに示してある方向に、カチッと音がするまで、カメラを回します。

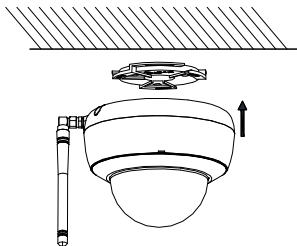


図 2-3 アダプタープレートにカメラを固定する

5. 監視角度を調整します。

- 1). 付属のレンチで底部のねじを 3 つ緩め、バブルを取り除きます。
- 2). チルト調整ネジを緩めます。
- 3). パンおよびチルト方向に、カメラの視点角度を調整します。

パン方向の角度範囲は 0° から 355° 。チルト方向の角度範囲は 0° から 75° 。

- 4). チルト調整ネジを締めます。
- 5). 底部ネジを締めてバブルを置き換えます。

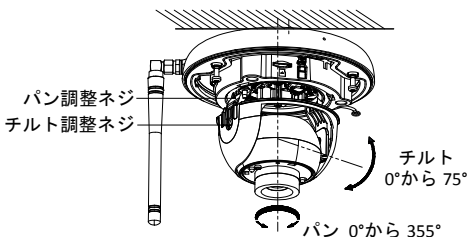


図 2-4 監視角度の調整

2.1.3 ブラケットを使用して天井に取り付ける場合

始める前に:

天井取付用ブラケットは商品に含まれません。天井取付用ブラケットは別途お買い求めください。天井マウントの前に、Wi-Fiアンテナが取り付けられていることを確認します。

手順:

1. セルフタッピングねじでブラケットを天井に取り付けます。

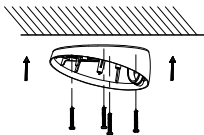


図 2-5 取付金具の固定

2. アダプターをブラケットにネジで固定します。

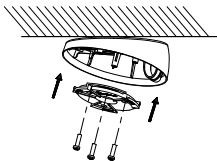


図2-6 アダプターの固定

3. 天井の中にケーブルを通す必要がある場合は、天井にケーブルを通す穴を開けます。天井の表面にケーブルを通す場合は、この手順は飛ばしてください。

- カメラのケーブル配線。
- 手で底部を固定して、アダプタープレートに示してある方向に、カチッと音がするまで、カメラを回します。

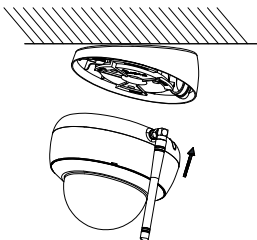


図 2-7 アダプタープレートにカメラを固定する

- 監視角度を調整します。詳細は、2.1.2 天井マウントの手順6を参照してください。

2.2 ネットワークケーブル防水ジャケットの取り付け (オプション)

目的:

カメラを屋外に設置する場合、カメラを設置面に固定した後で、ネットワークケーブル用の防水アクセサリーを適用することができます。

ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

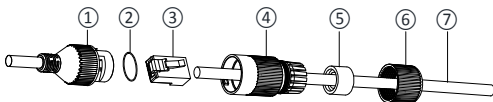


図 2-8 防水アクセサリコンポーネント

表 2-1 コンポーネント

番号	コンポーネント
1	カメラのネットワーク インターフェイス ソケット
2	O型ガスケット
3	ネットワークプラグ
4	防水エンドキャップ
5	防水ラバーガスケット
6	ロックナット
7	ルータ/スイッチからのネットワークケーブル

手順:

- 1) プラグなしネットワークケーブル ⑦ をロックナット⑥、防水ラバーガスケット⑤ (ラバーガスケットのはめ込み突起が防水エンドキャップ側を向いていること)、防水エンドキャップ④ の順に通していきます。
- 2) ツイストペアケーブルを正しい順番で差し込み、RJ-45 ネットワークプラグ③ をケーブルの端に取り付けます。

ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

- 3) O型ガスケット②をカメラのネットワークインターフェイスソケット①の端に取り付けます。
- 4) ネットワークプラグ③をカメラのネットワークインターフェイスソケット①に挿入します。
- 5) 防水ラバーガスケット⑤を防水エンドキャップ④に挿入し、ロックナット⑥を防水エンドキャップ④に取り付けます。
- 6) 防水エンドキャップ④の留め金をカメラのネットワークインターフェイスソケット①の切れ込みに合わせ、防水エンドキャップ④をカメラのネットワークインターフェイスソケット①に固定して、取付は終了です。

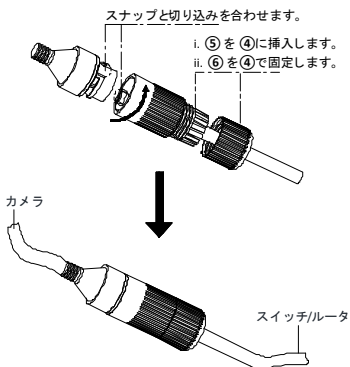


図 2-9 防水アクセサリの取り付け

3 LAN 経由のネットワークカメラの設定

注意:

- ワイヤレスネットワークルータをしても使える Wi-Fi NVR をカメラと併用している場合、カメラの電源が入ると自動的に NVR の Wi-Fi に自動的に接続されます。NVR で、カメラを起動・設定・編集できます。あらかじめ NVR の Wi-Fi が設定されていることを確認してください。詳細は ネットワークビデオレコーダー・クイックスタートガイドをご覧ください。
- インターネットアクセスを通じて製品を使用した場合と、ネットワークのセキュリティリスクがあることを承諾すると見なされます。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービス センターに連絡してください。

3.1 配線

以下の図にしたがってカメラをネットワークに接続します。

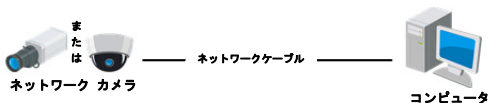


図 3-1 直接接続



図 3-2 スイッチまたはルータ経由の接続

3.2 カメラのアクティベート

カメラの使いはじめる前に、まず強力なパスワードを設定してカメラをアクティベートする必要があります。

Web ブラウザ経由のアクティベート、SADP 経由のアクティベート、そしてクライアントソフトウェア経由のアクティベートのすべてに対応しています。SADP ソフトウェアおよび Web ブラウザ経由のアクティベーションを例にカメラのアクティベーションを説明します。

注意:

クライアントソフトウェア経由のアクティベーションについてはネットワークカメラのユーザマニュアルを参照してください。

3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション

手順:

1. カメラの電源をオンにします。カメラをお使いのコンピュータまたはコンピュータが接続されているスイッチ/ルータに接続します。

ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

2. Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、[エンター] キーを押してアクティベーションインターフェイスに入ります。

注意:

- カメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。
- コンピュータとカメラは、同じサブネットに属している必要があります。
- DHCP がデフォルトで有効化されているカメラの場合、SADP ソフトウェアを利用して IP アドレスを検索する必要があります。

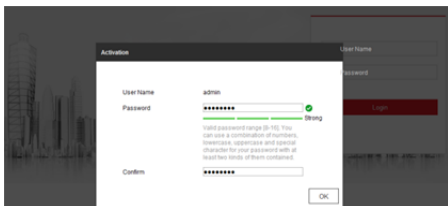


図 3-3 アクティベーションインターフェイス (Web)

3. 新しくパスワードを作り、パスワードフィールドに入力します。



強力なパスワード推奨— 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード(最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む)を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. パスワードを確認します。
5. [OK] をクリックしてパスワードを保存し、ライブビューインターフェイスに進みます。

3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション

SADP ソフトウェアはオンラインデバイスの検知、カメラのアクティベート、およびパスワードのリセットに利用します。

SADP ソフトウェアを付属のディスクまたは公式の Web サイトから入手し、プロンプトにしたがって SADP をインストールします。

ステップにしたがい、カメラをアクティベートします。

手順:

1. SADP ソフトウェアを実行し、オンラインデバイスを検索します。
2. デバイスリストからデバイスステータスをチェックし、非アクティブ状態のデバイスを選択します。



図 3-4 SADP インターフェイス

注意:

SADP ソフトウェアはカメラの一括アクティベートをサポートしています。詳細については SADP ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

3. パスワードフィールドに新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



強力なパスワード推奨— 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード(最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む)を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

注意:

アクティベーション中に、デバイスに対して Hik-Connect サービスを有効化することができます。詳細については 5.1 章を参照してください。

4. **[アクティベート]**をクリックしてアクティベーションを開始します。

ポップアップウィンドウからアクティベーションが完了したかを確認することができます。アクティベーションが失敗した場合、パスワードが要件に適合していることを確認して再試行してください。

3.3 IP アドレスの変更

目的:

カメラを LAN (ローカルエリアネットワーク) 経由で閲覧、設定するためには、ネットワークカメラをお使いの PC と同じサブネットに接続する必要があります。

SADP ソフトウェアもしくはクライアントソフトウェアをインストールし、デバイスの IP を検索して変更します。ここでは、SADP ソフトウェア経由での IP アドレス変更を例に取り上げて、IP アドレス変更の説明いたします。

クライアントソフトウェア経由で IP アドレスを変更する場合は、クライアントソフトウェアのユーザマニュアルを参照してください。

手順:

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. アクティブデバイスを選択します。
3. デバイスの IP アドレスをお使いのコンピューターと同じサブネットにするには、IP アドレスを手動で変更するか、[DHCP を有効化する] のチェックボックスをチェックしてください。

Modify Network Parameters

Enable DHCP
 Enable Hik-Connect

Device Serial No.:

IP Address:

Port:

Subnet Mask:

Gateway:

IPv6 Address:

IPv6 Gateway:

IPv6 Prefix Length:

HTTP Port:

----- Security Verification -----

Admin Password:

[Modify](#)

[Forgot Password](#)

図 3-5 IP アドレスの変更

注意:

アクティベーション中に、デバイスに対して Hik-Connect サービスを有効化することができます。詳細については 5.1 章を参照してください。

4. 管理者パスワードを入力して **[変更]** をクリックし、IP アドレスの変更を有効化してください。

SADP ではバッチ IP アドレス変更がサポートされています。詳細については SADP のユーザマニュアルを参照してください。

4 Web ブラウザ経由のアクセス

システム要件：

- オペレーティング システム：Microsoft Windows XP SP1 またはそれ以上
- CPU:2.0 GHz またはそれ以上
- RAM:1G またはそれ以上
- ディスプレイ：解像度 1024×768 またはそれ以上
- Web ブラウザ：Internet Explorer 8.0 以降のバージョン、Apple Safari 5.0.2 以降のバージョン、Mozilla Firefox 5.0 以降のバージョンおよび Google Chrome 18 以降のバージョン

手順：

1. Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレスバーにネットワークカメラの IP アドレスを入力し、[エンター] キーを押してログインインターフェイスに入ります。

注意：

デフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。IP アドレスは、お使いのコンピュータと同じサブネットに変更することをお勧めします。

3. ユーザ名とパスワードを入力します。

管理ユーザはデバイスのアカウントおよびユーザ/オペレータの権限を適切に設定する必要があります。必要のないアカウントおよびユーザ/オペレータ権限は削除してください。

注意:

管理ユーザがパスワード入力に 7 回失敗するとデバイスの IP アドレスはロックされます (ユーザ/オペレータの場合、5 回)。

4. [ログイン]をクリックします。



図 4-1 ログインインターフェイス

5. ライブビデオの表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。プラグインをインストールするにはインストールプロンプトにしたがってください。

注意:

プラグインのインストールを完了するために Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。

[Please click here to download and install the plug-in. Close the browser when installing the plug-in.](#)

図 4-2 プラグインのダウンロード

6. プラグインをインストールした後で Web ブラウザを再起動し、ステップ 2~4 を繰り返してログインします。

注意:

その他の設定の詳細な解説についてはネットワーク カメラの使用説明書を参照してください。

5 Hik-Connect アプリ経由の操作

目的:

Hik-Connect は、モバイルデバイス用のアプリケーションです。このアプリでは、カメラのライブ画像の表示、アラーム通知の受信などができます。

注意:

Hik-Connect サービスは特定モデルのカメラではサポートされていません。

5.1 カメラの Hik-Connect サービス有効化

目的:

Hik-Connect サービスは、サービスを使用する前に、お使いのカメラに対して有効化する必要があります。

SADP ソフトウェア、または Web ブラウザ経由でサービスを有効化することができます。

5.1.1 SADP ソフトウェア経由の Hik-Connect サービス有効化

手順:

1. 以下の場所にある**[Hik-Connect 有効化]**チェックボックスをチェックします:
 - カメラ アクティベーション中の「デバイスのアクティベート」ページ(詳細は 3.2.2 章を参照)。
 - または、IP アドレス変更中の、「ネットワーク パラメータの変更」ページ(詳細は 3.3 章を参照)。

2. 認証コードを作成するか、認証コードを変更してください。

The screenshot shows a dialog box titled "Tips" with a red header and a close button. The main text reads: "To enable Hik-Connect service, you need to create a verification code or change the verification code." Below this, there are two input fields. The first is labeled "Verification Code" and contains six asterisks. To its right, there is a text block: "6 to 12 letters or numbers, case sensitive. You are recommended to use a combination of no less than 8 letters or numbers." The second input field is labeled "Confirm Verification Code" and contains six asterisks. At the bottom of the dialog, there is a note: "The Hik-Connect service will require internet access. Please read the [\"Terms of Service\"](#) and [\"Privacy Policy\"](#) before enabling the service." At the bottom right, there are two buttons: "Confirm" (red) and "Cancel" (white).

図 5-1 認証コード設定 (SADP)

注意:

認証コードはカメラを Hik-Connect アプリに接続する際に必要になります。

3. クリックして「利用規約」と「プライバシー ポリシー」を確認してください。
4. 設定を確認します。

5.1.2 Web ブラウザ経由の Hik-Connect サービス有効化

始める前に:

このサービスを有効化する前に、カメラを有効化する必要があります。3.2 章 を参照してください。

手順:

1. カメラに Web ブラウザ経由でアクセスします。4 章 を参照してください。
2. プラットフォームアクセス設定インターフェイスに入ります:[設定] > [ネットワーク] > [詳細設定] > [プラットフォームアクセス]

Enable

Platform Access Mode

Server IP Custom

Register Status

Verification Code

6 to 12 letters (a to z, A to Z) or numbers (0 to 9), case sensitive. You are recommended to use

図 5-2 プラットフォームアクセスの設定 (Web)

3. プラットフォームアクセスモードとして Hik-Connect を選択します。
4. 有効化のチェックボックスを選択します。
5. クリックして、ポップアップ ウィンドウ上で「利用規約」と「プライバシー ポリシー」を確認してください。

6. カメラの認証コードを作成するか、認証コードを変更してください。

注意:

認証コードはカメラを Hik-Connect アプリに接続する際に必要になります。

7. 設定を保存します。

5.2 Hik-Connect 設定

手順:

1. App Store または Google Play™ で「Hik-Connect」で検索し、Hik-Connect アプリをダウンロードしてインストールします。
2. アプリを起動して、Hik-Connect ユーザアカウントを登録します。
3. 登録後、Hik-Connect アプリにログインします。

5.3 カメラの Hik-Connect への追加

始める前に:

カメラを Hik-Connect アカウントに追加する前に、カメラの Hik-Connect サービスを有効にする必要があります。5.1 章を参照してください。

手順:

1. カメラが Wi-Fi をサポートしていない場合、ネットワークケーブルを利用してカメラをルータに接続します。



図 5-3 ルータの接続

注意:

カメラをネットワークに接続した後、Hik-Connect 上でカメラを操作する前に、1 分間待ってください。

2. Hik-Connect アプリ上で右上隅の「+」をタップし、カメラの QR コードをスキャンしてカメラを追加します。

QR コードはカメラの上、またはデバイスのパッケージに同梱されているカメラのクイックスタートガイドの表紙にあります。

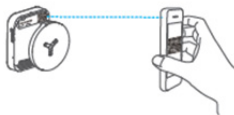



図 5-4 QR コードのスキャン

注意:

QR コードが見つからない、または認識できないくらいぼやけている場合、 アイコンをタップしてカメラのシリアル番号を入力することで、カメラを追加できます。

3. カメラの認証コードを入力してください。

注意:

- 必要な認証コードはカメラの Hik-Connect サービスを有効化する際にあなたが作成または変更したコードです。
 - 検証コードを忘れてしまった場合は、Web ブラウザから [プラットフォームアクセス] 設定ページを開くことで、現在の認証コードをチェックすることができます。
4. プロンプトにしたがってネットワーク接続を設定し、カメラをあなたの Hik-Connect アカウントに追加してください。

注意:

詳細な情報については、Hik-Connect アプリのユーザマニュアルを参照してください。

5.4 メモリ カードの初期化

注意:

メモリーカードは一部の機種でのみ使用できます。詳細は、実際のカメラをご覧ください。

手順:

デバイス設定インターフェイスのストレージ ステータスをタップしてメモリ カードのステータスをチェックします。

メモリ カードのステータスが「未初期化」と表示されている場合、タップして初期化します。すると、ステータスが正常に変化します。これで、カメラで、動体検知などのイベントトリガービデオの録画が開始できます。



First Choice for Security Professionals

UD06205B

Made in China

www.hikvision.com